



3月8日号 (303号)

編集/販売総本部ブランドプロモーショングループ

東日本大震災から15年 復興はどこまで進んだのか

11日(水)=1面、社会面

11日で東日本大震災の発生から15年を迎えます。津波と原発事故で甚大な被害が出た岩手、宮城、福島3県を中心に各地で追悼式が営まれます。

原発事故の影響が大きい福島県では、現在も帰還困難区域が残っています。震災による避難者はいまだに2万5000人以上います。震災の死者・行方不明者は関連死を含めて約2万2000人。大切な人を亡くした遺族の「心の復興」も道半ばです。被災地を取り巻く現状を伝えます。



福島県主催の2024年の追悼復興祈念式



多くの人が花を手向けた追悼施設「釜石祈りのパーク」

治療費の経済的負担 日本の公的支援制度とは

11日(水)=総合面



近年、がん治療にかかる費用が高額化しています。読者の皆さんも治療の経済的負担は気になるところではないでしょうか。

日本には公的支援制度があり、「障害年金」もその一つです。しかし、医師の間でも認知度が低く、制度への誤解もあり、申請に必要な診断書の発行を断られるケースもあるようです。

「どのような制度なの？」
「日常生活にどのような支障があれば対象になるの？」
「申請の手順は？」――。がん専門医で日本医科大学小杉病院腫瘍内科教授の勝俣範之さんⅡ写真Ⅱが詳しく解説します。

きょう国際女性デー

8日(日)=各面

8日は、女性の地位向上やジェンダー平等を求め行動する記念日として国連が1975年に制定した「国際女性デー」です。シンボルのミモザの花は、はかないように見えて険しい土地でもたくま



しく育ちます。イタリアで女性運動を主導した女性政治家らが「女性の日」のシンボルとして提案したのがルーツだそうです。

8日付朝刊では、男女の賃金格差や選択的夫婦別姓などをテーマに、各面に関連記事を掲載します。1面と3面で展開する「迫る」も「女性デー」バージョン。イスラム主義組織タリバンにより教育機会を奪われたアフガニスタン女性たちへの支援を巡るストーリーを紡ぎます。